

選択領域B「ものづくりに貢献できる創造的な技術者育成講座」講習概要・時間割

1. 日 時 : 平成29年8月3日(木)～8月4日(金) 10:00～17:20(休憩時間を含む)

2. 募集人数 : 10名

3. 講習内容

ものづくりに貢献できる創造的な技術者育成を目指す視点で、技術科教育及び工業科教育に役立つ、指導法や幅広い最新技術を学ぶ。内容は、「視覚造形」、「スマートフォン・アプリケーション開発」、「接着接合法」、「製図法」、「太陽光発電技術」等である。

4. 時間割等(予定)

【8月3日(木)】

時限	講習題目	内容	担当講師
9:30～10:00	【受付】		
1時限目 10:00～11:20	視覚造形概論	日本のものづくりの基となった、日本人が持つ造形の特質や日本人が創り上げた工芸美術を概説し、デザインにおける描画教育、講師が作品制作を行う版画や陶芸について紹介と説明を行う。	戸塚 泰幸 工学部教授
2時限目 11:30～12:50			
12:50～13:40	【昼休み】		
3時限目 13:40～15:00	Android Studio を使ったスマートフォン・アプリケーション開発	スマートフォンの代表的なアプリケーション開発環境の1つであるAndroid Studioの使い方を学び、実機上で簡単なアプリケーションを動かす方法を習得する。	蓑原 隆 工学部教授
4時限目 15:10～16:30			
5時限目 16:40～17:20	修了試験(筆記試験)		

【8月4日(金)】

時限	講習題目	内容	担当講師
9:30～10:00	【受付】		
1時限目 10:00～11:20	接着接合法	ものを組み立てたいとき、また、修理したいときなど、接合は重要な要素の一つである。接合法には様々あるが、本講義では接着接合に焦点を絞り、接着剤の種類、強度、長所、短所などを示し、どのようなとき接着接合法を用いることができるのか、具体的な使用状況と合わせて解説する。また、可能であれば、実践を交えて、より有効な接着接合の方法について説明する。	木原 幸一郎 工学部教授
2時限目 11:30～12:50	製図法	図面は形状を伝える上で、非常に有効な手段である。日本の機械図面の歴史は古く、現在でも基本的な部分は変わらず使用されており、そのほとんどが、世界でも通用する。しかし、細かな部分をみると海外から、また、技術者からの影響を受けて、その規格が変わってきている。製図法がどのように変わってきているのか、また、どのように変わっていくのか解説する。	
12:50～13:40	【昼休み】		
3時限目 13:40～15:00	太陽光発電技術の現状と課題	我が国の太陽光発電技術開発は第1次オイルショック以来、40年を超え、その水準の高さは世界トップクラスである。太陽光発電技術の歴史を辿りながら、太陽光発電の現状と解決すべき課題について講義する。	吉森 茂 工学部教授
4時限目 15:10～16:30	太陽光発電技術と省エネ技術、超伝導技術との融合	直流発電である太陽光発電の長所を活かして省エネ技術を進化させ、さらに超伝導技術と融合することによって実現する未来について講義する。LEDや超伝導技術の基礎についても講義する。	
5時限目 16:40～17:20	修了試験(筆記試験)		

※ 各時限の担当講師・内容は変更となる場合があります。